

令和2年度 新潟県農業大学校研修案内

○研修方針

研修は、次の4つ「①農業の担い手を育成する研修、②農業経営のステップアップを推進する研修、③農業機械の操作や整備、農作業安全に関する研修、④農業体験等とおして県民等の農業理解を促進する研修」に分けて実施しています。様々な内容があります。皆さまの参加をお願いします。

○申込み

申込みにあたっては、本チラシまたは「令和2年度研修計画書」（地域機関や市町村等に配布の冊子又はHPに掲載）

	研修名・内容及び習得技術等	研修対象者	予定人数	開催期日・内容	申込期限	経費(予定)	申込
担 い 手 育 成	就農実践コース ●「稲・野菜複合」、「野菜」、「産地園芸」の3専攻 ●農業の基礎講義と栽培実習のほか経営・企画等専門講義や先進農業者での実践研修など、農業経営の基礎と高度な経営手法が学べます。 ●要件を満たす人は農業次世代人材投資事業の交付申請が可能です。	・新たに県内に就農や法人等に就業したい者 ・1年間、就学・ほ場管理が可能なる者 ・「産地園芸」は産地等の了承を得ている者	各専攻合計 18人程度	令和2年4月6日(月) (開講式) ~ 令和3年3月4日(木) (閉講式)予定	1月24日(金) ~ 3月5日(木)	実習実費等 50,000円程度 テキスト代等は別途実費が必要	A
	就農アカデミー ●稲作、野菜、果樹、花きの4コース ●希望する科目の農業技術の基礎が学べます。 ●農業経営の基礎知識、農業機械の基礎的な操作が習得できます。	・新たに県内に就農を希望する人及び就農後間もない人又は農業法人への就職を考えている人 ・概ね18歳~65歳の方	野菜専攻 20人程度 その他の各専攻 10人程度	令和2年4月27日(月) (開講式) ~ 令和3年1月中旬 (閉講式)予定	4月9日(木)	テキスト代 1,500~ 2,500円程度	A
	農業担い手農耕用免許取得研修 ●農業の担い手の大特免許又はけん引免許(共に農耕用限定)の取得を支援します。	研修対象者	15人	■第1回 大特 4月20日(月)~4月23日(木) けん引 4月17日(金)~4月23日(木)	3月13日(金) ~ 4月3日(金)	受験手数料 4,650円 受講料 1,700円	A
	●以下の(1)~(2)の全てに該当する者 (1)所有免許 ・大特希望者は普通運転免許 ・けん引希望者は申請時に大特免許(農耕用限定含む)を取得している事	15人	■第2回 大特 9月7日(月)~9月10日(木) けん引 9月4日(金)~9月10日(木)	7月27日(月) ~ 8月14日(金)			
	(2)下記のア~キのいずれかに該当する者 ア 就農実践コース受講者 イ 農業次世代人材投資資金・青年就農給付金を受給している者 ウ 認定新規就農者 エ 農業機械士 オ 認定農業者 カ 認定農業者及び認定新規就農者の子・配偶者 キ 認定新規就農者及び認定農業者と雇用契約を結んでいる者 オ~キは申請時に認定済みであること。	15人	■第3回 大特 10月5日(月)~10月8日(木) けん引 10月2日(金)~10月8日(木)	8月20日(木) ~ 9月11日(金)			
	●注意点 ・別途、要件確認資料が必要です。 ・申込み時点で要件が確認できない場合は受講できません。 ・研修期間を契約期間とした傷害共済に加入が条件となります。 ・申込み多数の場合は、選考基準に基づき受講者を決定します。詳細は「令和2年度研修計画書」で確認してください。	15人	■第4回 大特 10月12日(月)~10月15日(木) けん引 10月9日(金)~10月15日(木)				
	15人	■第5回 大特 10月26日(月)~10月29日(木) けん引 10月23日(金)~10月29日(木)					
	15人	■第6回 大特 11月9日(月)~11月12日(木) けん引 11月6日(金)~11月12日(木)					

	研修名・内容及び習得技術等	研修対象者	予定人数	開催期日・内容	申込期限	経費(予定)	申込
農 業 経 営 の ス テ ッ プ ア ッ プ 支 援	農産加工基礎研修 ●経営管理の基礎を学び、経営のスタートや持続発展ができるようパソコン簿記ソフトの操作を通して複式簿記や会計のルールを学びます。 	農産加工の起業化・技術改良の意志がある農業者	10人	■笹団子 5月14日(木)	開催期日の2週間前まで	実習材料費 200～1000円	B
			10人	■米粉ケーキ 5月21日(木)			
			10人	■ジャム 6月4日(木)			
			10人	■アイス 6月11日(木)			
			10人	■梅干し 6月18日(木)PM			
			10人	■米粉パン 7月9日(木)			
			10人	■浅漬 7月16日(木)PM			
			10人	■シロップ漬 8月20日(木)PM			
			10人	■生キャラメル 12月10日(木)PM			
			10人	■切り餅・麺 12月17日(木)と18日(金)PMのみ			
			10人	■ベーコン 1月21日(木)			
			10人	■みそ・こうじ 2月2日(火)と4日(木)PMのみ			
農 業 経 営 の ス テ ッ プ ア ッ プ 支 援	農産加工発展研修 ●加工の基礎理論と最新情報の講義と実習で、農産加工の高度な技術を習得できます。 受講区分 ●以下のいずれかで申込み (1)年間すべての講義と実習に参加往復はがきに“すべて受講”と明記して申込みください。 (2)各回単独で参加希望開催日を明記の上、開催の2週間前までに申込みください。 ●各回単独で参加する場合は、各回、受講者1名ごとに往復はがきでの申込みが必要です(まとめたの申込みはできません)。 ●予定人数を大幅に上回った場合、選考により受講者を決定します。	農産加工の起業化・技術改良の意志がある農業者	15人	■食品衛生の基本 5月28日(木)	申込期限 ・受講区分(1)すべて受講の場合、随時受付 ・受講区分(2)各回の単独希望の場合、開催期日の2週間前まで 原則無料 (一部実習材料費を個人負担)	B	
			15人	■調味配合計算の基本 6月25日(木)			
			15人	■食品化学の基礎 7月30日(木)			
			15人	■食品微生物学の基礎と菌数測定 8月24日(月)、27日(木)			
			15人	■食品添加物の基礎 9月17日(木)			
			15人	■食品全般の殺菌・静菌・除菌と包装 10月22日(木)			
			15人	■野菜・果実の浅漬・乾燥の原理 11月10日(火)、12日(木)			
			15人	■古漬の調味・袋詰・殺菌の実習 12月22日(火)、24日(木)			
			15人	■食品製造機器・施設 令和3年1月28日(木)			
			15人	■食品営業許可・食品表示について 令和3年2月25日(木)			
農 業 経 営 の ス テ ッ プ ア ッ プ 支 援	農産加工特別研修 ●農産加工を行っているグループ等の特産品開発の課題解決を支援します。	農産加工を行っている農業者、起業化志向の農業者	各回3人以上	令和2年4月～令和3年3月 受講希望組織が計画する日 (開催日は事前調整)	開催予定日の2週間前まで	実習材料持参	D

	研修名・内容及び習得技術等	研修対象者	予定人数	開催期日・内容	申込期限	経費(予定)	申込
農業経営のステップアップ支援	経営管理・複式簿記基礎研修 ●経営管理の基礎を学び、経営のスタートや持続発展ができるようパソコン簿記ソフトの操作を通して複式簿記や会計のルールを学びます。	パソコン操作ができる方で、新規就農者、青年就農給付金受給者等	40人	12月3日(木)～4日(金)	11月20日(金)	無料	B
	ミドルマネジメント(中間管理者育成)研修 ●経験の浅い社員と経営者をつなぐ中間管理者(パイプ役)に求められる役割への理解と現状を改善するために必要なマネジメントスキルを、演習を交え研修します。	中間管理者、管理者候補	20人	令和3年 1月26日(火)	令和3年 1月15日(金)	無料	C
	トップマネジメント(人材育成と経営発展)研修 ●農業経営では人材確保・育成が大切です。雇用した者が定着し、意欲をもって働くために必要な魅力ある農場づくりや人材育成のノウハウを学びます。	経営者、次期経営者	30人	7月17日(金)	7月3日(金)	無料	C
	農政時事研修(農福連携で農業の経営発展) ●農業と福祉の連携は、農業分野の新たな人材の活躍や地域コミュニティの維持発展につながるものとしてさまざまな取組みが広がっています。そこで、農福連携による農業の経営発展の可能性を探ります。	・新たに県内に就農を希望する人及び就農後間もない人又は農業法人への就職を考えている人 ・概ね18歳～65歳の方	100人	8月21日(金)	8月7日(金)	無料	C
農業機械	初心者農業機械操作点検研修 ●トラクター等の基本操作と点検整備方法、農作業安全について学べます。 	新規就農者、法人等就業者、農村女性等の農業機械初心者	10人	■第1回 管理機・刈払機の操作・点検・整備 5月26日(火)	5月12日(火)	無料	B
	10人		■第2回 トラクター操作・点検整備 7月21日(火)～7月22日(水)	7月7日(火)			
	10人		■第3回 トラクターロータリー耕(雨天の場合作業機の脱着) 9月17日(木)～9月18日(金)	9月3日(水)			
	10人		■第4回 トラクターの基本的整備 令和3年2月17日(木)	2月3日(木)			
農業機械士認定研修 ●農業機械の適正な操作、作業点検・整備等、管理手法を習得できます。また、農業機械士認定試験を実施します。 ●注意点 県職業能力開発協会が実施する「農業機械整備技能士」を養成する研修ではありません。	・「農業機械士」を目指す農業者で大特免許取得済の者 ・18歳以上～65歳以下	20人	7月29日(水)～7月31日(金) (3日間)	6月1日(月)～ 6月30日(火)	テキスト代 2,420円 (予定)	B	
農作業事故ゼロ推進研修(出張研修) ●農作業事故防止の意識を啓発するために、地域へ講師を派遣し、農作業安全の講義を行います。	農業者、関係機関・団体の農作業安全担当者	各回 20人程度	農業者及び関係団体が計画する日 (開催日は事前調整)	開催予定日の2週間前まで	無料	A	

	研修名・内容及び習得技術等	研修対象者	予定人数	開催期日・内容	申込期限	経費(予定)	申込
農	緑の学園“1泊2日コース” ●先進農家等への視察と農業大学校で稲作、野菜、果樹、花き、畜産から希望する農作業が体験できます。	高校生	30人	8月6日(木)～8月7日(金) (1泊2日)	7月1日(水)	2,500円 食費、 リネン料、 傷害保険 掛金他	別途
	緑の学園“日帰りコース” ●農業大学校で農作業と米粉パン作りが体験できます。	高校生	30人	令和3年 3月9日(火)(予定)	令和3年 2月15日 (月)	1,000円 昼食代、 傷害保険 掛金他	
業	「大地の子」農業体験研修 ●農作物の管理作業や牛のエサやり乳搾り等が体験できます。 ●農業体験学習を支援します。	【畜産】 幼稚園・保育園児、 小・中学生 【畜産以外】 小学校高学年、 中学生	各回概ね 5人以上 50人未満	4月～12月 受講希望組織が計画する日 (開催日は事前調整)	1月24日(金) ～ 3月5日(木)	原則無料 牛のエサやり、 乳搾り体験は ひとり100円	A
	農業体験支援研修 ●農作物の管理作業や牛の飼育作業が体験できます。また、新潟県農業の概要について学びます。	・新たに県内に就農を希望する人及び就農後間もない人又は農業法人への就職を考えている人 ・概ね18歳～65歳の方	各回 5人以上 35人以下	5月～10月 受講希望組織が計画する日 (開催日は事前調整)	開催予定日 の 20日前まで	原則無料 一部研修は 実費負担	A
	農産加工体験研修 ●楽しく、季節の野菜、果物の農産加工が体験できます。	県民	5人	■笹団子 5月14日(木)	開催期日の 2週間前まで	実習材料費 200～1,000円	B
5人	■米粉ケーキ 5月21日(木)						
5人	■ジャム 6月4日(木)						
5人	■アイス 6月11日(木)						
5人	■梅干し 6月18日(木)PM						
5人	■米粉パン 7月9日(木)						
5人	■浅漬け 7月16日(木)PM						
5人	■シロップ漬け 8月20日(木)PM						
5人	■生キャラメル 12月10日(木)PM						
5人	■切餅・麺 12月17日(木)と18日(金)PMのみ						
5人	■ベーコン 1月21日(木)						
5人	■みそ・こうじ 2月2日(火)と2月4日(木)PMのみ						
体							
験							

区分	申込方法
A	各研修の 所定の書類又は申込書 に記入し、農業大学校研修センターへ郵送又は持参で申し込みください (所定の書類・申込書は農業大学校研修センターのホームページからもダウンロードできます)
B	往復はがき で、農業大学校研修センターへ申し込みください (受講の可否を返信はがきでお知らせします)
C	各研修の 所定の申込書 で申し込みください (研修によって申込先・申込み方法が違いますので、農業大学校研修センターのホームページ等で確認下さい)
D	地域振興局農林水産(農業)振興部経由で申し込みください

下記の研修は、別途申込み方法をご案内します

別途	緑の学園「1泊2日コース」、「日帰りコース」は高校に別途ご案内します
-----------	------------------------------------

【往復はがきの記載方法】

- 受講の可否を返信はがきでお知らせします。
- 複数の受講も可能ですが、各研修、各回、受講者1名ごとに往復はがきでの申込みが必要です。
(まとめた申込みはできません)
- 予定人数を大幅に上回った場合、選考により受講者を決定します。

往信表面	往信裏面	返信表面	返信裏面
〒953-0041 新潟市西蒲区 巻甲12021 新潟県 農業大学校 研修センター一	①研修名 (加工研修は希望日と品名も記入) ②郵便番号、住所 ③氏名(ふりがな) ④携帯電話番号 ⑤「J」指示されている ⑥ 研修のみ記入	受講希望者の 郵便番号 住所 氏名	何も書かず 空白 (農業大学校が 必要事項を 記入し 返信します)

新潟県農業大学校 研修センター

〒953-0041 新潟県新潟市西蒲区巻甲12021

E-mail : ngt068260@pref.niigata.lg.jp

http://www.pref.niigata.lg.jp/nogyodai/1343599229862.html

TEL: 0256-72-8547

FAX: 0256-73-3001